
「指点字入門」

高橋信行

1 指点字とは

- 1981年に福島令子が考案
- 盲ろう者のコミュニケーション手段の一つ

2 指点字の方法

2.1 盲ろう者と通訳者の位置関係

横並びスタイル(最も一般的)

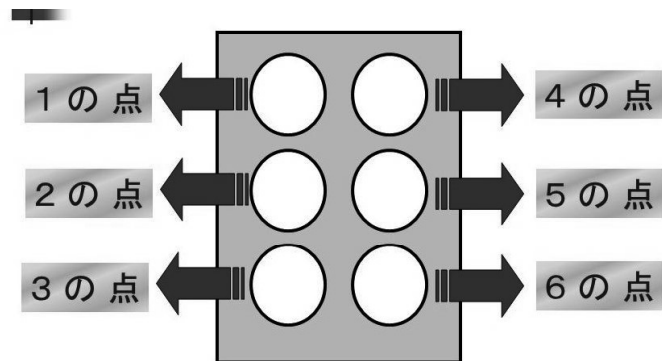
1. 互いに隣り合って同じ方向を向く。
2. 通訳者は盲ろう者の指の甲に自分の指の平を重ね合わせる。

対面スタイル

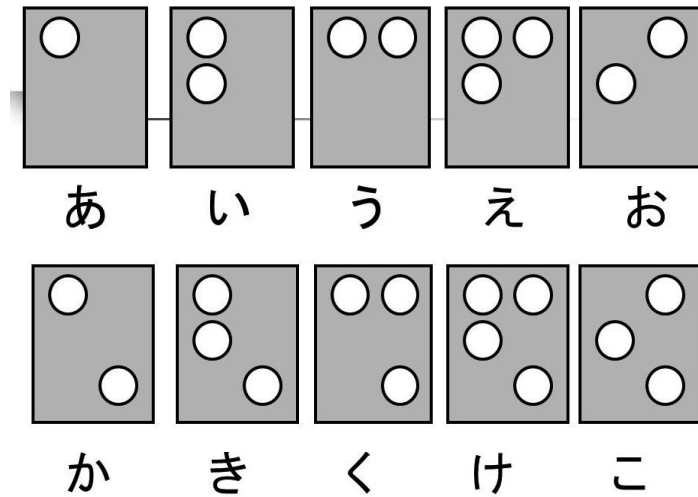
1. 互いに対面する。。
2. 通訳者の右手の指を盲ろう者の左手の指の甲に重ね合わせる。
3. 他方も同様。

2.2 指への点の配当

2.2.1 点字ーマスは6つの点からなる



2.2.2 「あいうえお」、「かきくけこ」



2.2.3 配当方式

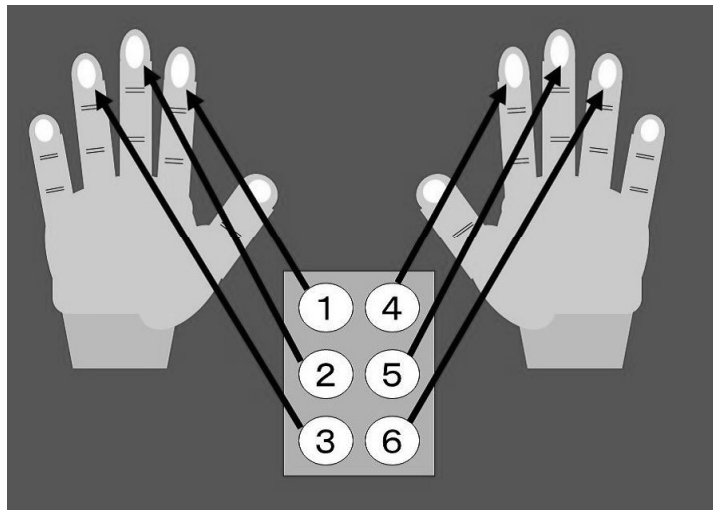
パーキンスブレーター方式(最も一般的)

- 1の点 左人差し指
- 2の点 左中指
- 3の点 左薬指
- 4の点 右人差し指
- 5の点 右中指
- 6の点 右薬指

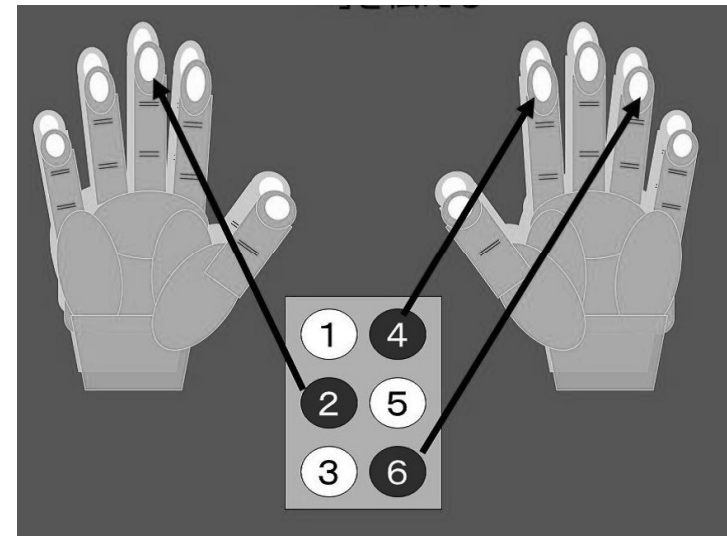
ライトブレーター方式

- 1の点 右薬指
- 2の点 右中指
- 3の点 右人差し指
- 4の点 左薬指
- 5の点 左中指
- 6の点 左人差し指

2.2.4 パーキンスブレーター方式



2.2.5 例えば「こ」を伝える



3 実際に指点字をやってみよう！

3.1 練習体制

指点字で最も一般的な「横並びスタイル」、「パーキンスブレイラー方式」を進めることとします。

1. 二人一組になります。
2. 横並びに座ります。
3. 盲ろう者役、通訳介助者役を決めます。
4. 盲ろう者はテーブルの上に手のひらを下にして両手を置きます。
5. 通訳介助者はその上に軽く手を乗せます。(重すぎない、フラフラしないように注意)

3.2 「あいうえお」の練習

3.2.1 「あ」

1. 通訳介助者はすべての指を盲ろう者の指から離しておく。
2. 通訳介助者は左の人差し指だけを盲ろう者の指の甲にポンッと打つ。

「あ」 ○○● ○○○

3.2.2 「い」

1. 通訳介助者はすべての指を盲ろう者の指から離しておく。
2. 通訳介助者は左の人差し指と左中指を同時に盲ろう者の指の甲にポンッと打つ。

「い」 ○●● ○○○

3.2.3 「う」「え」「お」

「う」 ○○● ●○○

「え」 ○●● ●○○

「お」 ○●○ ●○○

4 「私の名前はなにになにです。」と伝える

4.0.1 「わたしの」

「わ」 ●○○ ○○○
「た」 ●●● ○●○
「し」 ○●● ○●●
「の」 ●●○ ●○○

4.0.2 「なまえわ」

「な」 ●○○ ○○○
「ま」 ●●● ○●●
「え」 ○●● ●○○
「わ」 ●○○ ○○○^a

^a 点字では「は」ではなく「わ」を用いる

4.0.3 「なにになにです。」

「な」 ●○○ ○○○
「に」 ●●● ○○○
「な」 ●○○ ○○○
「に」 ●●● ○○○
「で」 ○○○ ○●○^a ●●● ●●○^b
「す」 ○○● ●●●
「。」 ○●○ ○●●^c

^a 濁点を前置する。

^b 2ストロークで「て」が「で」になる。

^c 句点を用いないこともある。

4.0.4 指点字一覧表を参照しながら自分の名前を差し込んでみよう。

先ほどの「なにになに」の箇所を自分の名前に置き換えて全文を打てるように練習してください。

5 上達のヒント

5.1 どちらのアプローチがよいか？

アプローチA

はじめに50音を全て覚えてから、
単語や文章を打ち始める。

アプローチB

50音は後回しにして、
打ちたい単語や文章を打つことから始める。

5.3 ステップ・バイ・ステップ

徐々にステップアップしていこう！

1. 一つの単語を繰り返し打つ。
2. いくつかの単語を繰り返し打つ。
3. 簡単な文章を打つ。
4. ゆっくりな会話を打つ。
5. NHKニュースを打つ。
6. テレビドラマを話者付きで打つ。

5.2 コンピュータを使って練習する。

Tエディタ2の準備

1. 下記のサイトからダウンロードする。
<http://t-editor.sakura.ne.jp/>
2. インストールする。

Tエディタ2を使って指點字の練習をする。

1. Tエディタを起動する。
2. 点字入力方式に設定する。
3. コンピュータのキーボードに指點字同様に点字入力する。^a
4. 画面に表示される文字を見ながら指點字が正確に打てたかどうかを確認する。

^a コンピュータのキーボードによっては点字入力に対応していないものもあるので、その場合はキーボードを交換するとうまくゆくことがある。